



2022年3月30日

各 位

会社名 株式会社リプロセル
代表者名 代表取締役社長 横山 周史
(コード番号: 4978)
問合せ先 取締役 CFO 赤野 滋友
(TEL. 045-475-3887)

米国の主要ながん研究施設 Fox Chase Cancer Center との合弁解消に関するお知らせ

2018年2月22日及び2019年2月28日にお知らせしました通り、当社は米国の主要ながん研究施設であるFox Chase Cancer Center(以下、FCCC)(※1)と合弁会社を設立することを取締役会にて承認し、合弁会社設立に関する契約を締結しております。この度、当社は、当社とFCCCとの合弁会社であるBiorepository LLC(登記場所: 米国デラウェア州、CEO: Rama Modali)を介した合弁契約を解消することを取締役会にて承認しましたので、お知らせいたします。なお、当社とFCCCは、本合弁解消後も、良好な関係性をふまえ、生体試料やがん領域でのビジネスにおいて、協力関係を継続していきます。

1. 本合弁解消の理由

本合弁会社は、①世界各地での生体試料バンクの開設と、②その第一歩としての人口数世界第2位を誇るインドでの生体試料バンク開設を目指して2019年2月に設立され、実際にインドにおいて生体試料バンクを開設いたしました。この間、当社はBioserve Biotechnologies India Pvt. Ltd.(以下、Bioserve社)の買収を通じて、独自にインド子会社を保有し、インド国内でのプレゼンス強化を図ってまいりました。この度、当社とFCCCの両者間協議のもと、今後の事業の成長と発展のために、両者それぞれの戦略に従い事業を進め、特に当社のインド事業として、Bioserve社を通じて当社グループ内のシナジーを強化していくことが最善であると判断し、本合弁を解消することといたしました。

(※1) Fox Chace Cancer Centerについて

Fox Chace Cancer Centerは、1905年に米国で最初のがん病院の一つとしてフィラデルフィアに設立されました。1974年に、国立がん研究所総合がんセンターに指定された最初の機関の一つであり、がん分野において、2名のノーベル賞受賞者を輩出したほか、4年連続で看護プログラムに対する賞を受賞しています。

2. 合弁会社の概要

(1) 名称	BIOREPOSITORY LLC	
(2) 登記場所	米国デラウェア州	
(3) 事業所所在地	9000 Virginia Manor Road Suite 207 Beltsville, MD 20705 USA (REPROCELL USA Inc. 内)	
(4) 代表者の役職、氏名	CEO Rama Modali	
(5) 主な事業内容	生体試料バンクの開設及び運営	
(6) 資本金	\$120,000	
(7) 大株主及び持ち株比率	REPROCELL Inc. 50% Fox Chase, Ltd. 50%	
(8) 設立時期	2019年2月28日	
(9) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当該会社は上場会社の子会社となります。
	人的関係	役員の兼任あり 当社の役員である臼井大祐が、当該会社の役員となります。
	取引関係	該当なし
	関連当事者への該当状況	該当なし

3. 合弁相手先の概要

(1) 名称	Fox Chase Ltd. (※2)	
(2) 所在地	333 Cottman Avenue Philadelphia, PA 19111	
(3) 代表者の役職、氏名	President and CEO Robert Uzzo, MD, MBA, FACS	
(4) 主な事業内容	FCCCと他社の合弁会社への出資	
(5) 資本金	相手企業の要請により非開示	
(6) 設立年月日	相手企業の要請により非開示	
(7) 大株主及び持ち株比率	Temple University Health System Inc. (※2) 100%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当なし
	人的関係	該当なし
	取引関係	該当なし
	関連当事者への該当状況	該当なし
(9) 当該会社の最近3年間の連結営業成績及び連結財務状態	相手企業の要請により非開示	

(※2) Fox Chase Ltd. およびFCCCはTemple University Health System Inc. の子会社です。FCCCでは他社と合弁会社を設立する際に、Fox Chase Ltd. を通じて出資を行っております。

4. 日程

(1) 取締役会承認日	2022年3月30日
(2) 契約締結予定日	2022年3月31日

5. 今後の見通し

本件が当社の2022年3月期連結業績に与える影響は軽微と考えておりますが、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

以上